



羽津っ子だより



<http://www.yokkaichi.ed.jp/~hazu/cms2/htdocs/>

🐡 プール開き 6/13～

子どもたちにとって楽しいプールが始まります。

楽しいプールといっても体育科の水遊び(低),
浮く・泳ぐ運動(中), 水泳(高)です。学年の発達
段階に応じた教育目標があります。安全面におい
ても最大限に留意して取り組みたいと思います。

保護者の皆様には、朝の健康観察(水泳許可書へ
の押印)や水着の準備などでお世話になりますが、
ご協力のほどよろしくお願い致します。

なお、本校の申し合わせにより、水泳許可書には必ず押印をお願いします。サインは
認めておりません。その際は、入水できませんのでご理解のほどお願いします。

5/30 6年プールそうじ



低学年の主な目標⇒水遊び

- 水に慣れる遊びでは、水につかったり移動したりすること。
- 浮く・もぐる遊びでは、水に浮いたりもぐったり、水中で息を吐いたりすること。

中学年の主な目標⇒浮く・泳ぐ運動

- 浮く運動では、いろいろな浮き方や伸びをすること。
- 泳ぐ運動では、補助具を使ってのキックやストローク、呼吸をしながら初歩的な泳ぎをすること。

高学年の主な目標⇒水泳

- クロールでは、続けて長く泳ぐこと。
- 平泳ぎでは、続けて長く泳ぐこと。



🐡 体力・運動能力調査6/4～6/8

学校では学力向上と共に体力の向上が求められています。

昨年度の本校の児童の実態としては、握力や長座体前屈、立ち幅跳びは全国平均を上回るものの、上体起こし・ソフトボール投げ(男女)、50m走・反復横跳び・20mシャトルラン(女子)などが低い数値となっています。

調査結果を基に、本年度の実態を把握し、体育科の授業や体育的行事等を通して体力の向上をめざしていきたいと思っております。



図書ボランティア「まざりいず」さん

6/1日(金)のいきいきタイムの時間に保護者ボランティア「まざりいず」さんによる読み聞かせがありました。視聴覚室に集まった主に低学年の子どもたちの目線が釘付けでした。

当日、読んでいただいた絵本は「こんにちは たまごにいちや」と「かぶとむしランドセル」でした。次回も楽しみです。

「まざりいず」の皆さん ありがとうございます。



カラス なぜ鳴くの!? カラスの勝手でしょ!ではなくて・・・

本校敷地付近にカラスが3羽生息しています。時には人に向かって飛んでくることもあり、子どもたちには注意を呼びかけています。カラスも子育ての時期なのでしょう。

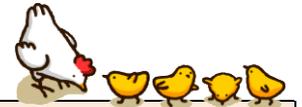
カラスと遭遇して思い出すが、童謡「七つの子」です。



♪からす なぜ なくの ♪からすは 山に ♪かわいい 七つの子があるからよ ♪

ここで気になるのが“七つの子”です。山の巣に七羽いるのでしょうか。七歳の子なのでしょう。カラスは一度に七羽の雛を育てることはないのだそうです。また7年生きたカラスは、子とは呼ばないそうです。さて“七つの子”とはどういう意味なのでしょう???

「啐啄同時」の教育



禅の言葉に「啐啄同時」というのがあります。5月は野鳥にとっては子育ての時期です。卵の中のヒナ鳥が殻を破ってまさに生まれ出ようとする時、卵の殻を内側から雛がコツコツとつつくことを「啐」といい、ちょうどその時、親鳥が外から殻をコツコツとつつくのを「啄」といいます。雛鳥が内側からつつく「啐」と親鳥が外側からつつく「啄」とによって殻が破れて中から雛鳥が出てくるのです。

両方が一致して雛が生まれる「機を得て両者相応じる得難い好機」のことを「啐啄同時」というのです。親鳥の啄が一瞬でもあやまると、中のヒナ鳥の命があぶない、早くてもいけない、遅くてもいけない、まことに大事なそれだけに危険な一瞬であり啐啄は同時でなくてはなりません。

(禅宗関連サイトより引用しました)

この言葉は、正に教育や子育てに通じる言葉であると思います。子どもの主体的な学びと教える側のサポートが一致して効果的な指導になると思います。

△子どものやる気がない時に、いくら周りが言っても効果が期待できない。

△子どもが知りたがっているのに、周りのサポートがないと効果が期待できない。

○子どものやる気と周りのサポートが同時にできれば効果が大きい期待できる。

子どもたちのやる気・意欲を引き出し、その上で効果的な指導を行いたいものです。



学校通信はホームページにも掲載しています。カラーでご覧いただけます。